

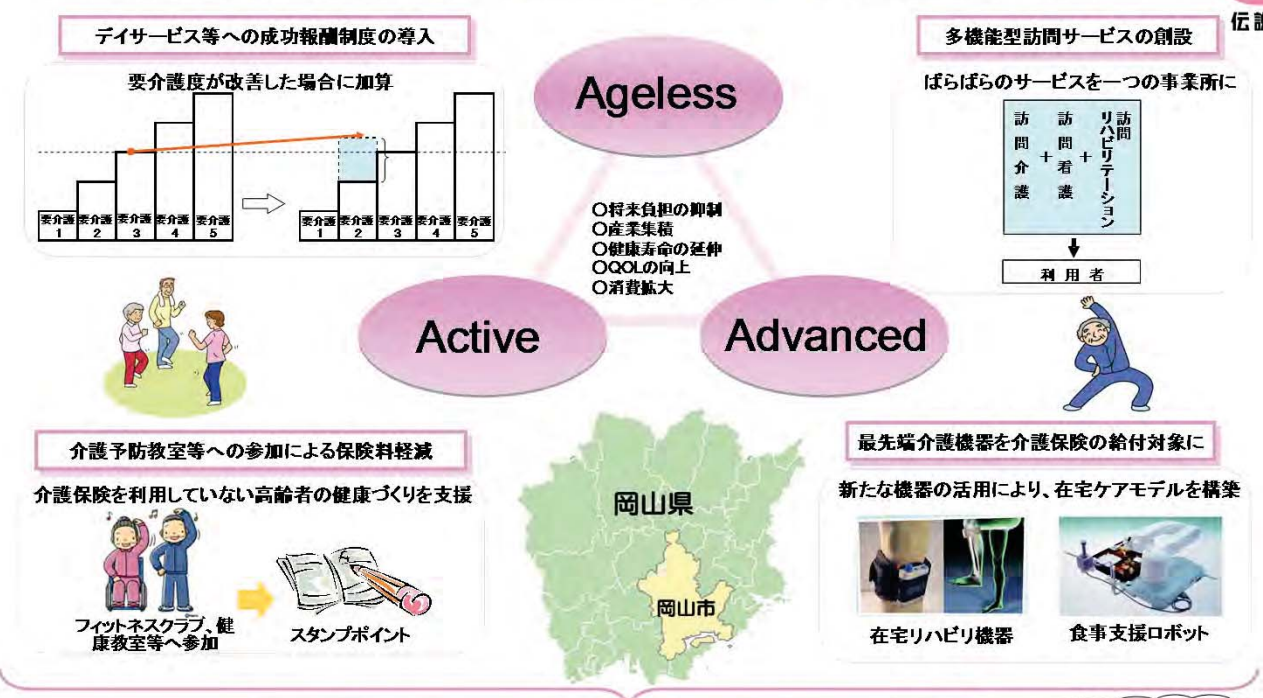
地域活性化総合特別区域の指定

地域活性化総合特別区域の名称	地方公共団体の名称	地域活性化総合特別区域の範囲
さがみロボット産業特区	神奈川県	神奈川県 <small>の</small> 区域のうち、相模原市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、厚木市、伊勢原市、海老名市、座間市及び綾瀬市並びに神奈川県高座郡寒川町及び愛甲郡愛川町の区域
ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区 (内陸のフロンティアを拓く取組)	静岡県	静岡県の区域
岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区（A A シティおかやま）	岡山市	岡山市の区域
九州アジア観光アイランド総合特区	福岡県、福岡市、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県及び鹿児島県の区域
ながさき海洋・環境産業拠点特区	長崎県、長崎市、佐世保市、西海市	長崎県の区域

【地域活性化総合特区】岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区【岡山市】

(トリプルエー)

AAA(エイジレス・アクティブ・アドバンスド) シティおかやまを全国に発信



在宅に特化した持続可能な社会経済の構築

介護分野にフォーカスした特区は全国初

<p>目標</p>	<p>高齢者が住みなれた地域で生き生きと暮らすことができる社会モデルの構築</p>	<p>【期待される効果】 〇5年後の経済効果・介護給付費の伸びの抑制 〇5年後新たな雇用・機器産業や介護周辺産業の雇用拡大</p>
<p>政策課題</p>	<p>解決策</p>	<p>新たな規制の特例措置などの提案</p>
<p>政策課題1</p> <p>急激な高齢化に伴う医療や介護に係る住民負担の上昇（将来負担の増大）</p>	<p>解決策1</p> <p>予防や介護度の改善を通じた将来負担の伸びの抑制</p>	<p>〇デイサービス等への成功報酬制度の導入 〇介護予防教室等への参加による保険料軽減</p>
<p>政策課題2</p> <p>国内需要の低下に伴う地域の生産・消費の停滞（地域経済の停滞）</p>	<p>解決策2</p> <p>在宅介護を可能とする最先端介護機器の活用による産業振興</p>	<p>〇最先端介護機器の介護保険給付対象化事業 〇ICTを活用した居宅療養管理指導事業</p>
<p>政策課題3</p> <p>在宅を支える地域の体制が不十分（地域包括ケアの未成熟）</p>	<p>解決策3</p> <p>地域包括ケアの実現</p>	<p>〇多機能型訪問サービスの創設 〇家族介護者支援（レスパイトケア）推進事業 〇デイサービス送迎者等の白ナンバー車両による買い物支援事業、医療法人による配食等</p>

- 地域独自の取組**
- 〇介護予防の最先端モデル（国のモデル事業等）
 - 〇医療・介護機器分野における地元企業と岡山大学等とのマッチング
 - 〇全国に先駆けた訪問診療医の育成（訪問診療スタート支援事業）
 - 〇地域医療を担う人材の育成（寄付講座）

- 地域協議会参画団体**
- （自治体関係者）
岡山県、岡山市
 （民間企業）
 岡山市地域包括支援センター（大学、研究機関等）
岡山大学、岡山市医師会、岡山市内医師会連合会、岡山県病院協会、岡山市歯科医師会、岡山県看護協会、岡山市薬剤師会、岡山県老人福祉施設協議会、岡山県介護支援専門員協会

岡山大学における医工連携大学院の設置を求める要望書

岡山大学におかれましては昭和24年の創立以来、幅広い分野において活躍する人材の育成や先進的な研究への取組により、本県産業の振興、地域医療の充実など、多方面にわたり多大な御貢献をいただいております、心から感謝申し上げます。

近年では、高齢化と人口減少が我が国において世界に類を見ない速度で進むことが予想されており、社会・経済が将来にわたって持続的に成長するためには、日本が世界に誇るものづくり技術を活かすことができる医療産業が、新たな産業の柱として期待されているところです。

このような中、本県においては、水島コンビナートを中心として発展してきた精密生産技術と、医療先進県と呼ばれる高い医療水準と充実した医療提供体制とを連携・融合し、今後成長が期待される医療産業分野への県内企業による事業展開を促進するため、中四国の医療産業拠点を目指したメディカルテクノバレー構想を平成20年に策定し、ものづくり企業の医療産業への参入促進や医療系ベンチャーの創出支援等に取り組んでまいりました。

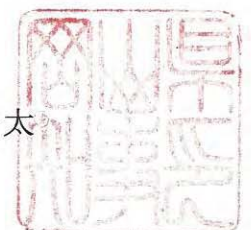
貴学が計画されております、大学院自然科学研究科に先進医療工学を学ぶ専攻の開設と医工連携大学院の新設は、高度な工学的知識と医療的知識を併せ持つ、これまでにない新たな人材育成を可能にする試みであり、このような取組により革新的な研究、医療機器等の開発を行う人材の育成や、大学発の有望な基礎研究成果を実用化につなげる橋渡しの推進が図られることは、メディカルテクノバレー構想の方向性とも合致するものであり、本県の医療産業施策の推進にとって極めて重要なものであります。

本県といたしましても、新たな大学院設置をはじめとする貴学の取組を通して、これまで以上に産官学の連携を強化してまいりたいと考えておりますので、大学院自然科学研究科に先進医療工学を学ぶ専攻の開設と医工連携大学院の新設について、ぜひとも早期に実施していただきたく、強く要望する次第であります。

平成26年3月31日

国立大学法人岡山大学 学長 森田 潔 様

岡山県知事 伊原木 隆太



岡山大学医工連携大学院構想について

岡山大学が進められている医工連携大学院の設置構想は、これまでの取り組みに加え異分野融合による新たな医療技術の開発や、医療水準の向上につながる先駆的かつ特色のある取り組みであり、地域社会のみならず国際社会にも貢献する次代を担う総合的な人材育成を目指すものと認識しております。

岡山市では、まちづくりを進めるに当たり、在宅に特化した総合特区の指定をはじめ、比較優位分野である健康・医療・福祉・環境・教育という都市機能等の集積を活かし、在宅医療・介護の推進や新たな医療関連産業や地場産業の創出・育成に向けた取り組み等を、関係機関とも連携を図りながら戦略的に推進しているところです。

こうした中、岡山大学との連携は、地域医療の充実と高度な医療を市民に提供する観点から双方に大きなメリットをもたらすものであり、すでに、寄付講座の設置による救急医療体制の充実や、全国初となる実践総合診療学分野における連携大学院の開設など、幅広い分野で連携・協力を深めております。

中四国地域で唯一の臨床研究中核病院である岡山大学病院が、国際水準の質の高い臨床研究や治験を推進するメガホスピタルとして医療水準の向上及び医療イノベーションの創出を実現していくことにより、これまで以上に優秀な人材育成が図られるとともに、医療関連産業の発展にもつながるものと期待しており、このたびの貴学の医工連携大学院の設置構想は、本市のまちづくりの推進においても大きく寄与するものと期待し、当該構想を早期に推進していただくよう要望するものです。

平成26年4月30日

国立大学法人岡山大学 学長 森田 潔 様

岡山市長 大森 雅夫



自然科学研究科の新専攻設置と新大学院の設置を求める要望書

貴学におかれましては、昭和24年の創設以来、岡山県における公的な知の府として、高度な知識の創成と的確な知の継承を通じて、人類社会の発展に貢献されるとともに、優れた人材の育成や産業の振興、文化の向上、地域医療の拡充や先進医療の先駆的存在であるなど、極めて幅広い分野において発展を遂げておられ、岡山の地方産業経済の振興にも、多大なご貢献をいただいているところであります。

とりわけ、岡山県内の医療は、岡山大学病院をはじめ関係の皆様のご努力により、全国的にみて高い水準にありまして、先進的な医療技術は世界的にも注目されているところであります。また、岡山大学病院は、中国四国地方で唯一の臨床研究中核病院に選定されたことにより、今後も県内外の医療機関などと連携して一層、質の高い臨床研究に取り組み、新たな技術の開発や優秀な人材の育成、さらには岡山県の医療関連産業の発展に繋がることを期待しているところであります。

そのような中、岡山大学では、さらなるグローバル教育に取り組み、国際競争力を備えた日本を牽引する大学となるべく、『地域に根ざし世界に輝く一創造的国際学都を目指して一』といった力強い目標を掲げておられます。とりわけ、異分野融合や地域の産学官連携による取り組みの面では、先頃、貴学内施設に於いて、「健康・医療・福祉」をキーワードとした、岡山県内及び近隣県の企業の製品開発例と岡山大学の研究シーズを広く紹介されるなど、臨床・研究・開発・製造・マーケティングに関わる多様な職種、異分野の方々のお集いの場の提供にご尽力されております。

さて、岡山県は、医工連携という面では先進的な取り組みを展開していると考えておりますが、地域産業には、まだまだ発展の余地はあろうと思っております。高齢化社会による医療・福祉の重要性が叫ばれる中、医学と工学のコラボによるものづくりはますます脚光を浴び、医療機器などの研究開発に携わる若手人材の育成はまさに急務になると存じております。

この度、貴学が計画されている大学院自然科学研究科内に医療・医用工学を研究する新たな専攻の開設と、それにとどまることなく、さらに進展させるべく医工連携に関する大学院を新設されるという計画は、岡山県の産業経済の発展を大きく後押しいただけるものと確信する次第であります。

岡山経済同友会といたしましては、かねてから、岡山大学との『研究教育に関する情報提供網』を構築いたしており、迅速に広く地域・企業に届け、情報を共有することにより、①大学と地域・企業との同分野・異分野人的ネットワークの連携強化、②新たなシーズ・ニーズの発見、③岡山からのイノベーションの創出などに繋げていくなどの取り組みがありますが、これをさらに強固なものにして参りますし、なにより、医療で目指す「一番住みたい県 岡山」にしたいと存じておりますので、この度ご計画の大学院自然科学研究科における新専攻の開設と、医工連携に関する大学院の新設につきましては、是非とも早期に実現いただけるよう、切に要望いたす次第でございます。

平成26年6月3日

国立大学法人 岡山大学長 森田 潔 殿

一般社団法人 岡山経済同友会

代表幹事 萩原 邦 章

代表幹事 松田 久



新大学院（博士後期課程）の設置を求める要望書

岡山大学におかれましては、昭和24年の創設以来、岡山県における公的な知の府として、高度な知識の創成と的確な知の継承を通じて、人類社会の発展に貢献されるとともに、優れた人材の育成や産業の振興、文化の向上、地域医療の拡充や先進医療の先駆け的存在であるなど、極めて幅広い分野において発展を遂げておられ、岡山の地方産業経済の振興にも、多大なご貢献をいただいているところです。

貴学では、国際競争力を備えた日本を牽引する大学となるべくさらなるグローバル教育に取り組まれ、「地域に根ざし世界に輝く一創造的国際学都を目指して」という力強い目標を掲げておられ、特に昨年は、中国四国地域においてトップのブランド力を持つ大学として評価されたことは、岡山の産業経済界としても心強い限りであります。

とりわけ、岡山県内の医療は、岡山大学病院をはじめ関係の皆様のご努力により、全国的にみて高い水準にあり、先進的な医療技術は世界的にも注目されているところです。岡山大学病院が、中国四国地方で唯一の臨床研究中核病院に選定されたことにより、今後も県内外の医療機関などと連携して一層、質の高い臨床研究に取り組み、岡山県の医療関連産業の発展に繋がることを期待しているところです。

この間、貴学は異分野融合や地域の産学官連携に取り組み、「健康・医療・福祉」をキーワードとした、岡山県内及び近隣県の企業の製品開発例と岡山大学の研究シーズを例年広く紹介されるなど、臨床・研究・開発・製造・マーケティングに関わる多様な職種、異分野の方々の出会いの場の提供にご尽力されてこられました。

そのような中、岡山県は、医工連携の面では先進的な取り組みを展開してきたと考えておりますが、貴学大学院自然科学研究科内に医療・医用工学を研究する生命医用工学専攻を開設いただき、医学と工学のコラボによるものづくりはますます脚光を浴び、医療機器などの研究開発に携わる若手人材の育成が急速に早まり、地域産業のさらなる発展に拍車がかかっています。

一方で、先進的な技術は、常にその技術が如何にして社会の必要に応え使い易く受け入れ易いものになるかという社会実装を追究する観点も必要です。これを理解・創出できる博士の学位を持つ人材育成の必要性を考えますと、医工学的な視点だけでなく、臨床現場での課題を踏まえた医療的な視点、健康や幸せという人間の根源的な問いに関して考える人文社会科学的な視点も加えて必要かつ急務と考えます。この度、貴学が計画されている新しい大学院はそのようなコンセプトに合致し、高齢化社会における医療・福祉の重要性が叫ばれる中、岡山県の産業経済の発展をより一層かつ早急に後押しいただけるものと確信する次第であります。

岡山経済同友会といたしましては、かねてから、岡山大学との『研究教育に関する情報提供網』を構築いたしており、迅速に広く地域・企業に届け、情報を共有することにより、①大学と地域・企業との同分野・異分野人的ネットワークの連携強化、②新たなシーズ・ニーズの発見、③岡山からのイノベーションの創出などに繋げていくなどの取り組みがありますが、これをさらに強固なものにして参りますし、なにより、医療で目指す「一番住みたい県 岡山」にしたいと存じておりますので、この度ご計画の大学院の新設と、博士の学位を持つ人材の育成につきましては、是非とも早期に実現いただけるよう、切に要望いたす次第でございます。

平成29年2月7日

国立大学法人 岡山大学長 森田 潔 殿

一般社団法人 岡山経済同友会

代表幹事 松田 久

代表幹事 松田 正己





February 13, 2017

To Whom It May Concern:

As international affairs manager for the City of San Jose, a sister city of Okayama City, I had the privilege to work together with Okayama University on several key projects including students and researchers exchange programs and the opening of the University's Silicon Valley Office. During this time, I got to know their research and education program very well.

Through the San Jose-Okayama sister city relationship, established in 1957, San Jose State University and Okayama University have a long and important university-to-university relationship, which has involved collaboration between the universities and exchange programs.

I am very pleased to know about the potential project of setting up a new graduate school at Okayama University, which intends to integrate cross-disciplinary knowledges and skills including medicine, engineering, ethics, and law in both research and human resource development. I commend the University for their strong commitment to the advanced study and education of students in this important discipline.

Educating highly skilled personnel who can deal with transdisciplinary concepts and practices both as Masters and PhD graduates can provide the exact kind of human resource which are now required from both academic and business communities. I support this initiative.

A new graduate school at Okayama University will further enhance a great University and expand potential partnerships for San Jose and Silicon Valley.

Yours sincerely,

Joseph Hedges
International Affairs Manager

(レターヘッド)

サンノゼ市経済発展局

2017年2月13日

関係各位

私は岡山市の姉妹都市であるサンノゼ市の国際関係マネージャーとして、岡山大学と幾つかの重要なプロジェクトで共に働く機会を持ちました。その中には学生や研究者の交流プログラムや、岡山大学のシリコンバレー・オフィスの開局も含まれています。それらの機会を通じて、私は同大学の研究教育プログラムを深く知ることとなりました。

1957年に締結されたサンノゼ＝岡山姉妹都市協定を通じて、サンノゼ州立大学と岡山大学の両大学間では長きにわたり、大学間の協働や交流プログラムを含めた重要な関係を持っております。

このたび岡山大学が医学・工学・倫理・法学を含めた多分野の知識と技術を統合し、研究と人材育成を目指す新たな大学院を設置する計画があると知ることは、私にとって大きな喜びであります。同大学がこのような重要なディシプリンに基づいて高度な学術研究と教育を進めようとする強い意欲をもつことを称賛するものであります。

他分野にまたがる概念や実践を理解し、高度な技術を持った人材を修士および博士修了生として教育することは、現在学術とビジネスの双方で必要とされる人材を供給することとなります。私はこの試みを支持するものであります。

岡山大学における新たな大学院は素晴らしい大学を更に強化し、サンノゼ市およびシリコンバレーとの新たなパートナーシップを広げるものであります。

敬具

(サイン)

ジョセフ・ヘッジス

国際関係マネージャー



Japan Business Society of Detroit

3000 Town Center, Suite 606
Southfield, MI 48075-1175

Phone: (248) 355-4899
Fax: (248) 355-5799

Website: www.jbsd.org
E-mail: jbsdsmich@jbsd.org

新大学院（博士後期課程）の設置を求める要望書

「地域に根ざし世界に輝く一創造的国際学都を目指して」という力強い目標を掲げておられる岡山大学におかれては、近年のグローバル化の中でウエイン州立大学との交流強化に取り組みおられることは、デトロイト商工会といたしましても大慶の至りです。

特に昨年は、国際競争力を備えた日本を牽引する大学となるべく、中国四国地域においてトップのブランド力を持つ大学として評価されたことは、現在のご活躍を裏打ちされるものと存じます。貴学は異分野融合や地域の産学官連携に取り組み、「健康・医療・福祉」をキーワードとした、企業の製品開発例と岡山大学の研究シーズを例年広く紹介されるなど、臨床・研究・開発・製造・マーケティングに関わる多様な職種、異分野の方々の出会いの場の提供にご尽力されておられると聞き及んでいます。

とりわけ、岡山大学は、岡山大学病院をはじめ関係の皆様のご努力により、日本全体で高い水準の医療を持ち、先進的な医療技術は世界的にも注目されているところ です。

岡山大学病院が、中国四国地方で唯一の臨床研究中核病院に選定されたことは、今後も医療機関などと連携して一層、質の高い臨床研究に取り組み、新たな技術の開発や優秀なリーダーシップを取れる人材の育成、さらには医療関連産業の発展に繋がることを期待させます。

このような状況下で、ウエイン州立大学が最近設立した Integrative Bioscience Center (IBio)の中に貴学が研究室を構えて研究拠点を開設されたことを始めとして、工学部間における学生交換やダブルデグリープログラムの共有を準備されておられることにより、ウエイン州立大学との間で当該分野における技術や人材、とりわけ博士の学位を有する人材の交流が早急に深まることを期待しているところ です。

先進的な技術は、常にその技術が如何にして社会の必要に応え使い易く受け入れ易いものになるかという社会実装を追究する観点も必要です。これを理解・創出できる人材育成の必要性を考えますと、単なる医工学的な視点だけでなく、臨床現場での課題を踏まえた医療的な視点、健康や幸せという人間の根源的な問いに関して考える人文社会科学的な視点も加えて必要と考えます。

この度、貴学がそのようなコンセプトの下に新しい大学院を計画され、高齢化社会による医療・福祉の重要性が叫ばれる中、技術開発と博士人材育成の両面から産業経済の発展をより一層後押しするものと確信する次第です。

デトロイト日本商工会は、地域交流活動を通じた相互理解と親善の推進を目的に掲げる中で、25年以上に亘り、当地の大学をはじめとする教育機関、病院、その他の非営利団体の活動を支援してきております。

当会の情報交換網の中に岡山大学が入ることによって、広く地域・大学・企業の間で人的ネットワークの連携強化と、新たなシーズ・ニーズの発見、イノベーション創出の機会拡大に繋がると存じますので、この度ご計画の大学院の新設と、博士人材の育成につきまして、是非とも早期に実現いただけるよう、要望いたします次第でございます。

平成29年2月13日

国立大学法人 岡山大学長 森田 潔 殿

デトロイト日本商工会

事務局長 植田 庄 作